

2019年8月20日

【2018年度受注案件】

下関バイオマス発電所(74.98MW)向け燃料受入、貯蔵及び搬出設備据付工事着工

株式会社三井三池製作所(代表取締役社長 平川 幸知、本社:東京都中央区、以下「当社」)は2018年6月、九電みらいエナジー株式会社、西日本プラント工業株式会社、九電産業株式会社が出資する下関バイオマスエナジー合同会社が山口県下関市で建設予定の木質バイオマス専焼としては国内最大級となる「下関バイオマス発電所」(以下「本発電所」)の内、燃料受入、貯蔵及び搬出設備の設計から設備の供給、据付及び試運転までを西日本プラント工業株式会社から受注していましたが、同据付工事が2019年6月より着工いたしました。

本発電所は2022年1月の運転開始を予定しています。当社は石炭と共に成長して培ってきたマテリアルハンドリングのノウハウを最大限に活かして、燃料受入、貯蔵及び搬出設備を納入してお客様のプラント運営に貢献して参ります。

【燃料受入、貯蔵及び搬出設備の概要】

- 稼働地 : 山口県下関市彦島迫町7丁目(下関市所有地他)
- 主要設備 : 受入コンベヤ、サイロ払出機、払出コンベヤ等
- 搬送物 : 木質ペレット等
- 契約範囲 : 設計、製作、供給、据付、試運転
- スケジュール : 2022年1月運転開始予定

<稼働地>



<完成予定図>



【お問い合わせ】

本件に関するお問い合わせは、以下までご連絡をお願いいたします。

○プラント営業部

TEL 03-3270-2006

以上